



走行レバーキット

Greensmaster® 1018, 1021, 1026 芝刈り機

モデル番号 139-4330

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	—	コントロールカバーを外します。
3	必要なパーツはありません。	—	クラッチベイルを外します。
4	コントロールシャフトコネクタ	1	コントロールシャフトコネクタを取り付けます。
5	近接センサーアセンブリ フランジナット 1/4" ダブルエンドねじ	1 2 2	近接センサーアセンブリを取り付けます。
6	必要なパーツはありません。	—	ベイルラッチスペーサの位置を調整します。
7	ワイヤハーネス インタロックモジュール ねじ	1 1 2	ワイヤハーネスとインタロックモジュールを取り付けます。
8	レバー ノブ ナット 5/16"	1 1 1	レバーを取り付けます。
9	必要なパーツはありません。	—	走行ケーブルを調整します。
10	必要なパーツはありません。	—	コントロールカバーを取り付けます。



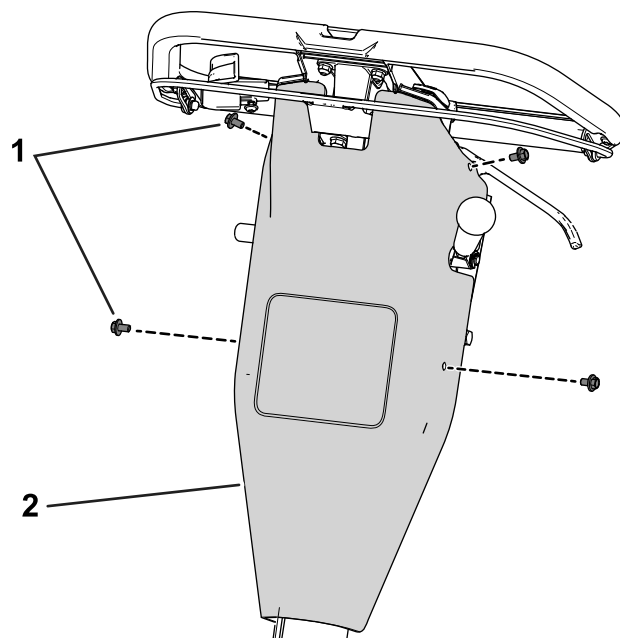
1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを停止する。
4. 点火プラグから点火コードを外す各マシンのオペレーターズマニュアルを参照。



g280734

図 2

1. ねじ

2. コントロールカバー

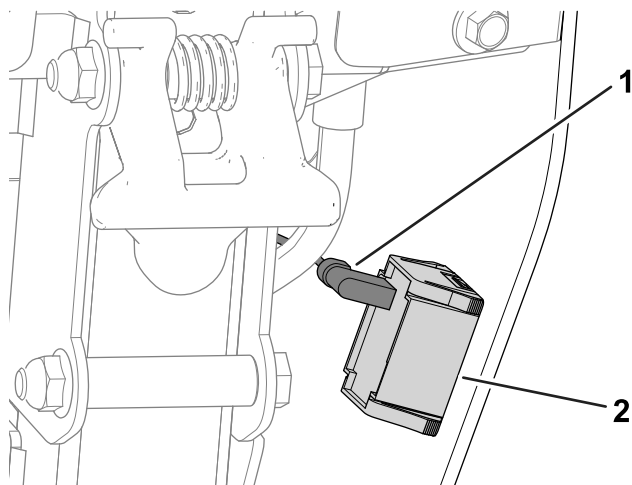
2

コントロールカバーを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. アワーメータに接続されているワイヤハーネスを外す 図 1。



g280735

図 1

1. ワイヤハーネスのコネクタ 2. アワーメータ

2. コントロールカバーを後パネルに固定しているねじを外してコントロールカバーを外す 図 2。

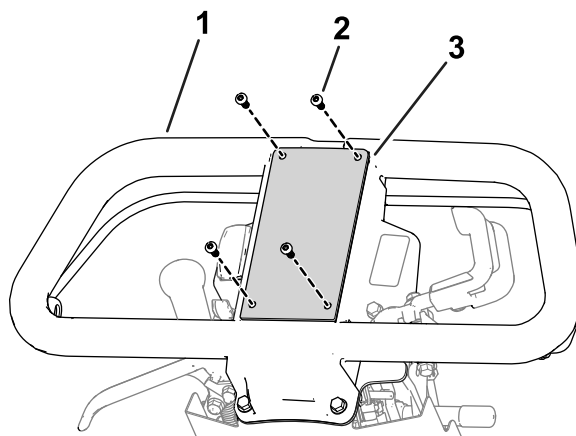
3

クラッチベイルを外す

必要なパーツはありません。

ハンドルを外す

1. パネルをハンドルに固定しているねじを外して、パネルをハンドルから取り外す 図 3。



g287538

図 3

1. ハンドル
2. ねじ

3. パネル

2. スロットルアームをハンドルに固定しているナット、ボルト、圧縮スプリング、スペーサを外す 図 4。

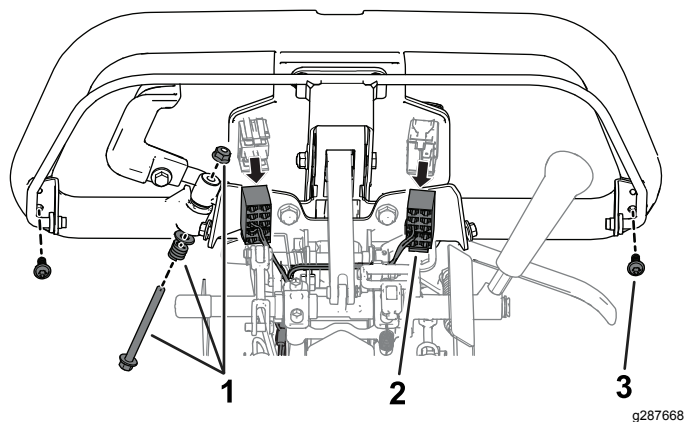


図 4

1. スロットルの金具類
2. ワイヤハーネスの接続部分
3. ねじ

3. ハンドルのスイッチに接続されているワイヤハーネスをすべて外す 図 4。
4. ベイルブラケットをハンドルに固定しているねじ2本を外す 図 4。
5. ハンドルをハンドルマウントに固定しているボルトとナットを外して 図 5 ハンドルを外す。

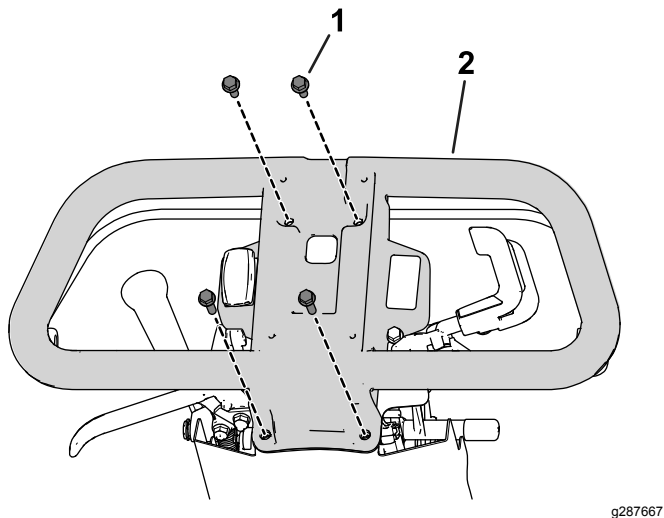


図 5

1. ボルト
2. ハンドル

ベイルを外す

1. ベイルをハンドルマウントに固定しているボルトとナットを外す。スペーサ、ピン、スプリングを外す 図 6。

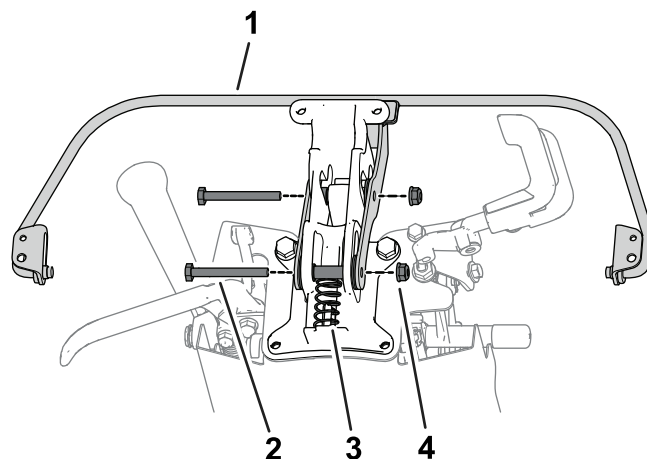


図 6

1. ベイル
2. ボルト
3. スプリング
4. ナット

2. ハンドルマウントからベイルを外す。
3. ベイルリンクをコントロールシャフトに固定しているピンを外して 図 7、ベイルリンクを外す。

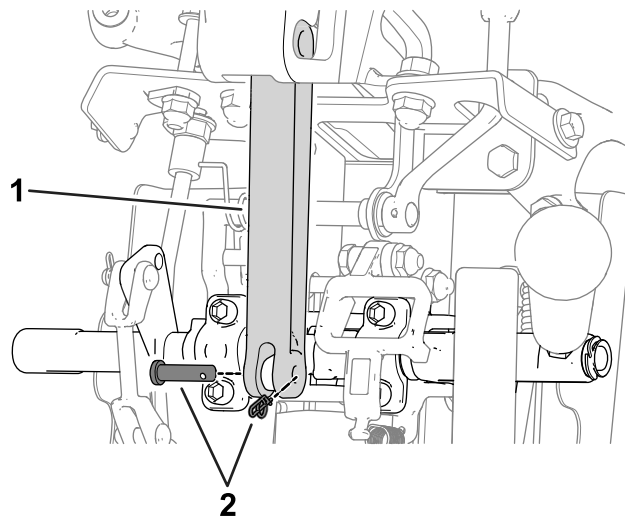


図 7

1. ベイルリンク
2. ピン

ハンドルを取り付ける

1. ステップ5 ハンドルを外す (ページ 2) で外したボルトとナットを使用してハンドルをハンドルマウントに固定する 図 5 を参照。
2. ハンドルのスイッチすべてに、対応するワイヤハーネスを接続する 図 8。

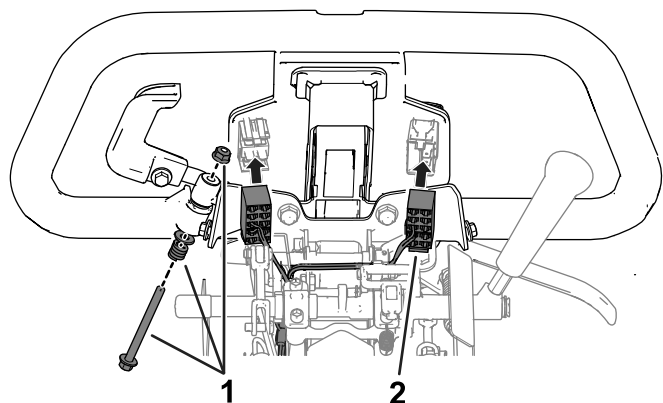


図 8

g287674

1. スロットルの金具類
2. ワイヤハーネスの接続部分

3. ステップ2 ハンドルを外す (ページ 2) で外した金具類を使ってスロットルアームをハンドルに取り付ける 図 8。
4. ステップ1 ハンドルを外す (ページ 2) で外したねじを使用してパネルをハンドルに取り付ける 図 3 を参照。

4

コントロールシャフトコネクタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

- | | |
|---|----------------|
| 1 | コントロールシャフトコネクタ |
|---|----------------|

手順

手順については 図 9 を参照してください。

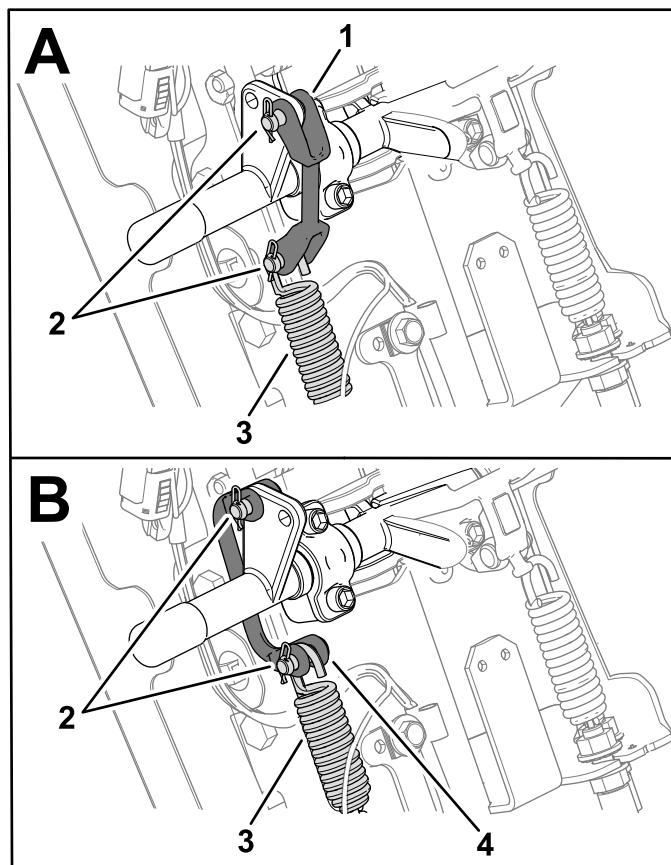


図 9

g287669

1. コントロールシャフトコネクタ
2. ピン
3. 走行ケーブルのスプリング
タクラッチペイル
4. コントロールシャフトコネク
タ 走行レバー

1. コントロールシャフトコネクタから走行ケーブルのスプリングを外す。
2. コネクタをコントロールシャフトに固定しているピンを外してコネクタを外す。
3. 外したピンを使用して、新しいコントロールシャフトコネクタをコントロールシャフトに取り付ける。

4. 新しいコネクタに走行ケーブルのスプリングを接続する。

5

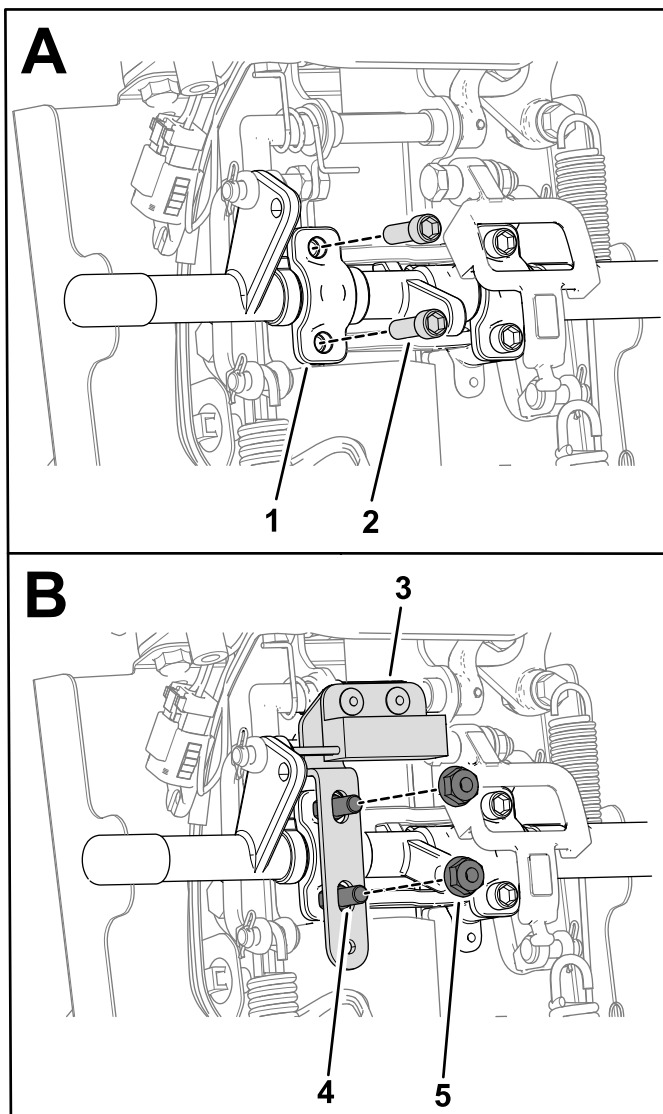
近接センサーアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	近接センサーアセンブリ
2	フランジナット 1/4"
2	ダブルエンドねじ

手順

1. コントロールシャフトのスペーサについているソケットヘッドねじを外す 図 10。
2. ダブルエンドねじ2 本とフランジナット1/4"2 個を使用して、近接センサーアセンブリをコントロールシャフトに固定する 図 10。
3. ねじとナットを 9-12 N・m 1.0-1.2 kg・m = 7-9 ft-lb にトルク締めする。



g287673

図 10

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. スペーサ | 4. ダブルエンドねじ |
| 2. ソケットヘッドねじ | 5. フランジナット 1/4" |
| 3. 近接センサーアセンブリ | |

6

ベイルラッチスペーサの位置を調整する

必要なパーツはありません。

手順

ベイルラッチスペーサの位置を調整して、スペーサがベイルのラッチと上側シャーシのタブとの間にくるようにする “B” 図 11 を参照。

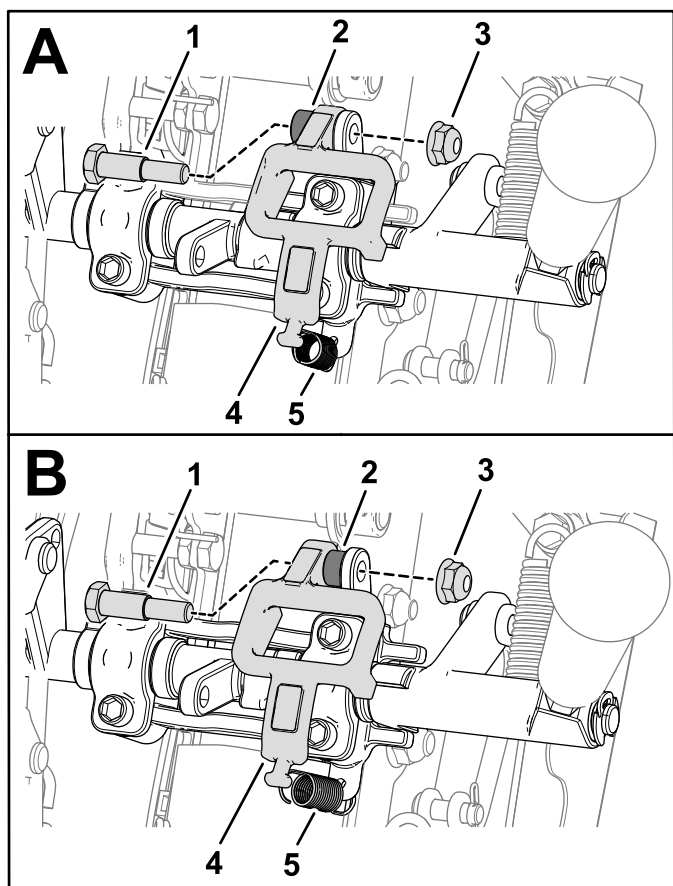


図 11

g287718

- | | |
|------------|-----------|
| 1. ショルダボルト | 4. ベイルラッチ |
| 2. スペーサ | 5. スプリング |
| 3. ナット | |

1. ベイルラッチからスプリングを外す。
2. ベイルラッチをシャーシのタブに固定しているショルダボルトとナットを外す。
3. ショルダボルト、ナット、スペーサを使用して、ベイルラッチをコントロールシャフトに固定する。
4. ベイルラッチにスプリングを取り付ける。

7

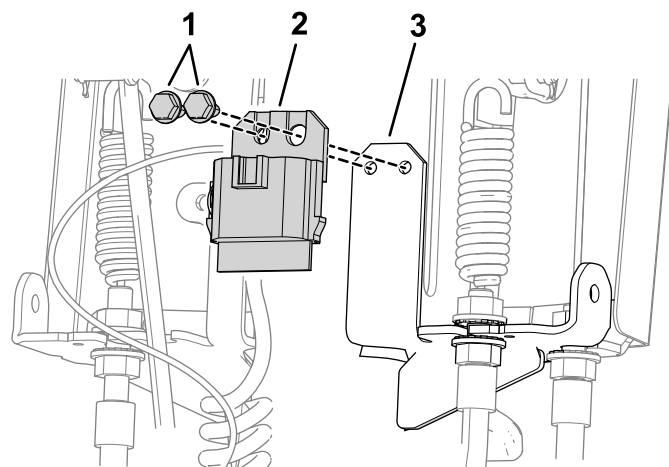
ワイヤハーネスとインタロックモジュールを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネス
1	インタロックモジュール
2	ねじ

手順

1. ねじ 2 本で、インタロックモジュールをケーブル用バルクヘッドに取り付ける 図 12。



g281730

図 12

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ねじ | 3. ケーブル用バルクヘッド |
| 2. インタロックモジュール | |

2. ワイヤハーネスを以下のように取り付ける

- ワイヤハーネスの端部6 ソケット側インタロックモジュールに接続。
- ワイヤハーネス端部ラベルは **TRACTION SWITCH** 近接センサーのコネクタに接続する。
- ワイヤハーネス端部ラベルは **To MAIN HARNESS** マシンのワイヤハーネスに接続するラベルは **To INTERLOCK MODULE**。

8

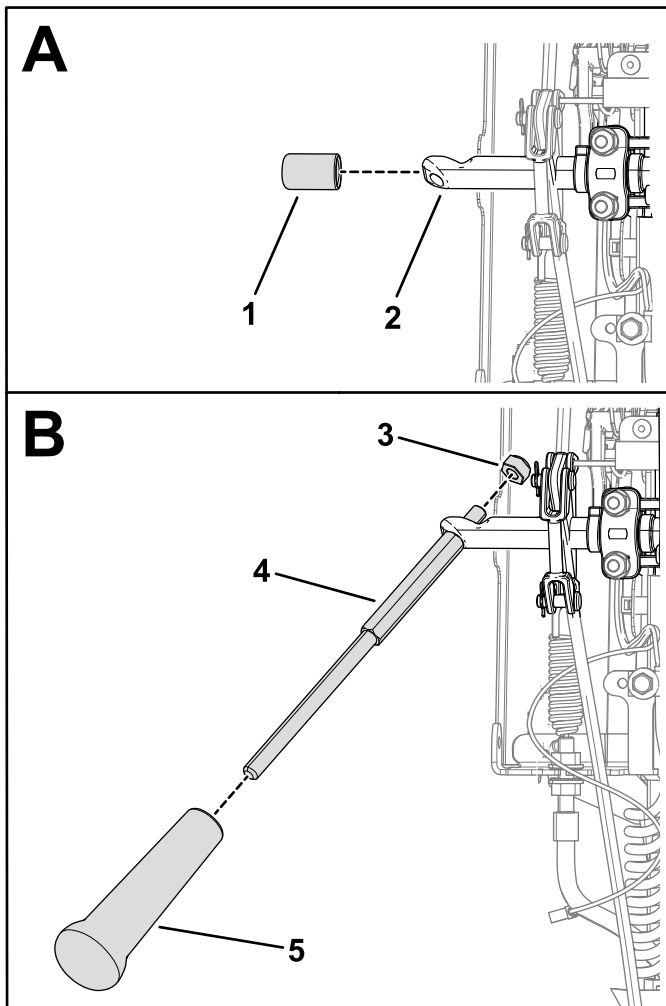
レバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	レバー
1	ノブ
1	ナット5/16"

手順

1. コントロールシャフトからキャップを取る 図 13。



g287670

図 13

- | | |
|---------------|--------|
| 1. キャップ | 4. レバー |
| 2. コントロールシャフト | 5. ノブ |
| 3. ナット5/16" | |

2. レバーにノブを取り付ける 図 13。

3. ナット5/16"を使用してレバーをコントロールシャフトに固定する 図 13。

4. ナットを 19-24 N·m2.0-2.5 kg.m = 14-18 ft-lbにトルク締めする。

9

走行ケーブルの調整

必要なパーツはありません。

手順

フリクションディスクとプレッシャプレートとの間のギャップが適切になるように走行ケーブルを調整する各マシンのオペレーターズマニュアルのコントロール装置の整備の項を参照。

10

コントロールカバーを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

手順については2 コントロールカバーを外す (ページ 2) の説明を参照してください。

1. 先に外したねじを使ってコントロールカバーを取り付ける。
2. アワーメータにワイヤハーネスを接続する。

運転操作

走行レバーの使用方法

走行レバーは、走行クラッチとして機能します。

- 走行レバーを入れるレバーを下げて 入位置にする 図 14。
- 走行レバーを切るレバーを上げて 切位置にする 図 14。

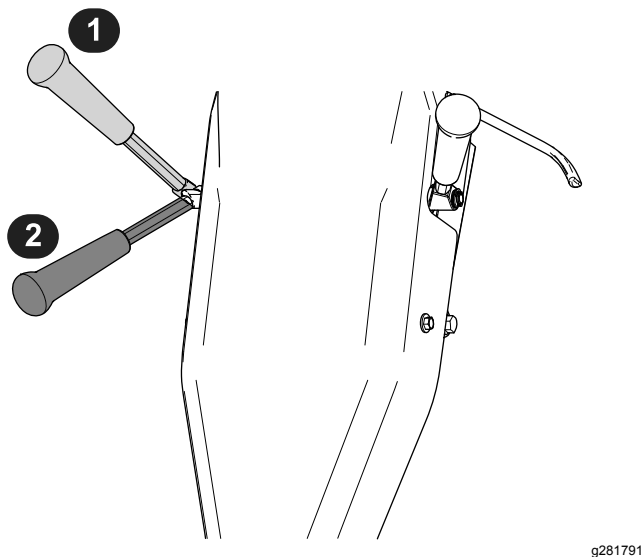


図 14

1. 切位置

2. 入位置